



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2531



八重紅梅

第2531回 例会 令和7年3月25日

点 鐘 … 大木 啓嗣 会長

ロータリーソング … 手に手つないで

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 大木 啓嗣 会長

御 祝 披 露 … 大木 啓嗣 会長

誕 生 祝 … なし

結婚記念日 … なし

入会記念日 … なし

幹 事 報 告 … 島田 博之 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「DXD鑑賞～ハラスメント問題～」

R情報委員会 長谷川 弘 委員長

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム (令和7年4月1日)

卓 話

「未定」

(有)磯初 代表取締役 飯田 訓文 氏

お食事「あずま寿司」



THE MAGIC OF ROTARY

ロータリーのマジック

2024-2025 年度 R I 会長 ステファニーA. アーチック

第 2530 回例会(令和 7 年 3 月 18 日)

会長挨拶

大木 啓嗣

いまや日本人の 9 割が所有しているスマートフォン。買い物、ナビゲーション、決済と、なくてはならない存在となっています。一方で育児に使用したり、何歳から子供に持たせるかなど議論も多くあります。一時期、学校でスマホ禁止というルールも存在しました。小学 6 年生では約 65%がスマホを所有しているといわれています。しかしこのスマホ禁止というルールは子供の能力を逆に下げてしまうと提唱する専門家もいます。その内容を紹介します。

スマホをはじめとする情報通信技術 (ICT) との付き合い方は、多くの子育て中の保護者が直面する悩みだ。スマホ利用にはメリットとリスクが混在しており、否定的な意見が広がりがちである。一方で 2022 年のある報告では、個別フィードバック機能のついた幼児向け算数学習アプリを使用することで学習能力が向上することが明らかになっている。学校教育ではプログラミング教育の必修化や一人 1 台端末の導入が進むなど、ICT が子供の学びに欠かせない存在となっている。これらの背景には、急速に変化する社会への対応が求められていることがある。単に禁止することが解決策ではない。むしろ、スマホを正しく使いこなす力を育むことがこれからの社会を生き抜く子供たちにとって必要不可欠なのだ。

専門家チームは 2002 年からプログラミング教育に取り組み、2005 年には一人 1 台の学習環境の整備を提案しました。2010 年以降はその実現に向けた政策提言や実践を重ね、課題解決に尽力してきた。ICT を使いこなす力は今や必須であり、教育を強化する最強の武器ともいえる。ICT を活用した学びには「楽しく、つながって、便利になる」というメリットがある。映像や音声を活用すれば、子どもの好奇心を刺激しながら楽しく、わかりやすい学びを提供できる。先生と子供、子ども同士、保護者や地域、さらには世界とつながり、教えあい、学びあえる。個々の学習進度に応じた学びを提供することも可能だ。ICT は詰め込み・暗記型の教育から思考・創造型の学びへと進化させる手段であると考えます。そして、ICT の影響は、産業にとどまらず、社会・文化・生活全般のあらゆる場面に変革をもたらしえるものだ。だからこそ、ICT を使いこなす力はこれから生きる人たちの基礎教養となる。

しかし、教育への ICT 導入には強い反対の声もあった。「ICT より外遊び」「体に悪影響がある」「コミュニケーション力が低下する」「子供にとって百害あって一利なし」。こうした批判的な意見は ICT に限らず、新しい技術が登場するたびに繰り返されてきた。人はこれまでの生き方、暮らし方、働き方、価値観を否定されることを恐れ、批判を繰り返してきた。変化することが怖いのだ。テレビの普及に際しても思考力が低下するといった議論

が巻き起こり、ゲームが普及すると脳への悪影響が指摘された。確かに新しい技術にはメリットとデメリットが存在する。しかし規制するだけでは問題解決にはならない。重要なのはメリットを最大限生かし、デメリットは最小限に抑えること。デジタル機器の使用は適切な指導を通じて最適な使い方を習得することが重要だ。

しかし、教育分野は変化の速度が遅く、コロナ渦による臨時休校の際、多くの学校がオンライン教育に移行できず、学びが中断する事態が生じたことは記憶に新しい。2018 年度に発表された OECD の調査によると日本はデジタル機器の学校での利用時間は加盟国で最下位。コンピューターを使って宿題をする頻度も最下位。学校での ICT 環境整備はほとんどされていないことをコロナを通じて多くの人が実感した。

その後は急ピッチで環境整備がすすめられた。さらに、教育の情報化が注目される中で、未就学児の ICT 活用に関する相談が増えてきた。直感的に操作できるデバイスの普及により、デジタル機器の利用が低年齢化していることも背景にある。この傾向は国内外を問わず共通している。世界各地で 3~4 歳の段階で多くの子供たちがデジタル機器を使用し、日常的にオンライン接続していることがわかっている。乳幼児教育や保育の場においてデジタル技術のリスクと利点について学ぶことが極めて重要であるとしている。もちろん、長時間の利用や不適切なコンテンツへの接触、個人情報の悪用などのリスクが無視できない事実はある。しかし、リスクにのみ焦点を当てることの機会損失に言及しつつ、早期にデジタルリテラシーを育むことが、将来のスキル構築に寄与し、デジタル格差の是正につながるとしている。大事なものは体験の質である。

専門家チームは 2010 年ころからデジタル絵本の開発と普及に取り組み始めた。ICT が子供の生活に浸透していく中で、子供たちに良質なデジタルコンテンツを提供することが重要だと考えたからだ。「カメラで撮影した風景を切り抜いてコラージュ作品を作る。」「野外にキャラクターが登場する AR 技術を活用して、探求しながらハイキングを楽しむ」これらはそれぞれの価値を今まで以上に高めてくれるツールであると言える。

もちろん、適切な使用方法に留意することは重要だ。「親子コミュニケーションのツールとして使う」「創造、表現のツールとして使う」ことを重視している。

毎年多くの人が交通事故にあう。しかし自動車のない社会に後戻りすることは難しい。それと同様に、情報機器と向き合うことを避けられないのが、子供たちが生きている今の社会だ。デジタル技術の進化する現代、スマホを有効に活用する方法を模索し、そのスキルを教えることが保護者に求められている。

スマホ利用に正解はない。大人もしっかりと考え、適切な使い方を各家庭で導き出していくことが大切だ。雇用環境も大きく変動させる。今の子供たちが大人になる

頃には多くの仕事がなくっていると指摘されている。しかし、これまでもたくさんの仕事なくなった代わりに、たくさんの新しい仕事も生まれてきた。これからの時代を生きていく子供たちには今までにない仕事を自ら作り出していく力が求められている。社会が大きく変わる中で重要なのは変化を楽しむ心と学び続ける意欲である。大人自身がその変化を楽しみながら新しい社会を切り開く意志を示すことが大切だ。こうした大人の姿勢こそが子供たちにとって最大の学びとなるとも言えるだろう。

日本の七十二候を楽しむより

3月15日～19日ころ

菜虫（なむし）蝶と化す・・・冬をすごしたさなぎが羽化し、蝶に生まれ変わる頃

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・チャリティーバザーご案内
 - ・女性ロータリアンフェローズご案内
 - ・ローターアクト地区行事「SDGs運動会」のご案内
 - ・【RLI委員会】RLI 第1回ブラッシュアップセミナー開催のご案内
 - ・令和7年大船渡大規模山林火災被害支援について
 - ・ロータリーデー J:COM視聴のお知らせ
 - ・友誌4月号目次事前案内 受領
- 2・ロータリー米山記念奨学会より
 - ・終了奨学生の連絡先WEB登録についてご案内
 - ・ハイライトよねやま 300 受領
- 3・銚子市交通安全都市推進協議会より
令和7年春の全国交通安全運動出動式及び交通安全キャンペーン等の参加について（依頼） 受領

卓 話

「地域おこし協力隊 坂園の銚子での活動とこれから」

銚子市地域おこし協力隊 坂園 俊太郎 氏

初めまして、私は銚子市地域おこし協力隊の坂園と申します。地域おこし協力隊の中でも観光プロモーション型という銚子市役所観光商工課所属の隊員として活動しております。



まず、私のこれまでの経歴からご紹介させていただきます。私はデザイン専門学校後、日本のアパレルブランドで主にファッションショー用の衣服の制作、デザインアシスタントを担当しておりました。そこで約2年半におよぶ勤務、制作の中で、今の私の代名詞となる刺繍と

いう技術を習得するに至りました。その後、転職しようとしたところ、新型コロナウイルスの影響で内定が取り消しとなり、2020年に独立し、現在ではファッションブランドやデザイン会社などで刺繍加工をはじめとした衣服のデザイン、制作を行っております。

私はこれまで東京都内や各地で刺繍のワークショップを開催してきましたが、参加者からの質問が少なく、熱意があまり感じられないことも多々ありました。その一方で、銚子市でワークショップを行った際には、参加者の方々から質問が絶えず、会場全体が活気にあふれていたのがとても印象的でした。都内では得られなかった銚子市民の意欲や好奇心に触れ、「こんなにものづくりへの情熱を持っている人たちがいるなら、もっと長く関わりたい」と強く感じたことが、私が銚子に移住を決めた大きなきっかけの一つです。

さらに私の故郷である熊本県宇城市三角町と銚子市の風景がよく似ていたことも、移住を後押ししました。海と港が身近にあり、少し足を伸ばせば山にも囲まれる地形は、まるで故郷を思い出させてくれます。懐かしさと新鮮さが同時に感じられるこの土地で、新しいものづくりの可能性を探りたいと思うようになりました。

銚子には漁網や銚子縮、万祝染など、奥深い技術と長い歴史を誇る伝統工芸が数多く存在します。私はこれらの素材や技法を活用し、現代のライフスタイルに合ったデザインを施すことで、銚子発の新たなブランドを生み出し、地域の魅力をより多くの方に届けたいと考えています。伝統をただ守るだけでなく、新たな価値を付加して広げていくことで、若い世代も興味を持ち、地元に誇りを感じられるような取り組みを目指したいのです。

また、その活動を継続的に支えるためには、ものづくりコミュニティの創出が欠かせません。私自身は刺繍を得意としていますが、もし私がいなくなったときに「教えてもらったけれど、もう作れない」という状況では本末転倒です。そこで、ワークショップを通じて刺繍を学べる場を提供し、地域の方々が互いに技術やアイデアを交換しながらスキルを磨けるコミュニティを育てたいと考えています。そうすることで、常に新しいアイデアが生まれ、地域全体がものづくりを通じて活性化していくのではないのでしょうか。

将来的には、刺繍や服飾加工の技術を体系的に学べる学校を銚子市に設立することが私の夢です。現在、刺繍をしっかり学ぶ場は全国的にも非常に限られており、少子高齢化の進行に伴って第一線で活躍する職人の方々が引退し、貴重なノウハウが散逸していく現状があります。この課題を解決するためにも、コミュニティと学びの場を融合させ、刺繍を含む服飾加工の技術を継承・発展させる仕組みをつくりたいのです。地域の人々が学びと実践を通じて共に成長し、銚子発の新たなクリエイションが国内外へ発信される未来を描きながら、少しずつ取り組みを進めていきたいと思っています。

第9回定例会理事会

日 時：令和6年3月18日（火）例会終了後
議 題

- 1・例会休会の件 4/29(火) 休会(祝日) 承認
- 2・4月例会スケジュールの件 承認
- 3・合同スポーツ大会の件 承認
- 4・R財団地区補助金申請の件 承認
- 5・大船渡大規模山林火災被害支援金の件 承認
- 6・退会者の件 松隈宗裕会員 3/31 付退会 承認

4月例会スケジュール

第1例会 4月1日

卓話「未定」(有)磯初 代表取締役 飯田 訓文 氏

第2例会 4月8日

卓話「未定」(有)銚子海洋研究所

代表取締役 宮内 幸雄 氏

第3例会 4月15日

卓話「未定」(有)ケーエムケー 根本 啓太 氏

第4例会 4月22日

卓話「未定」一般社団法人銚子青年会議所

理事長 伊藤 秀晃 氏

第5例会 4月29日

休会(祝日)

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

米山終了式

3月15日(土)米山奨学生終了式が行われ、柳時源君、飯田会員が出席しました。



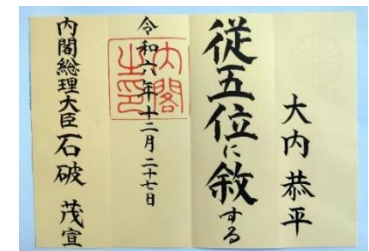
退会挨拶

3月31日付で退会される松隈宗裕会員よりご挨拶をいただきました。



お知らせ

当クラブの元名誉会員 故・大内恭平氏が「従五位」の叙勲を授与されました。



前回の例会(3/18)報告

点 鐘 大木 啓嗣 会長

出席報告

会員総数	30 名	出席規定除外数	2 名
出席者	19 名	出席率	67.86 %
3月4日		確定出席率	82.76 %

来訪ロータリアン なし

欠席者 9名

メイクアップ なし

スモールコインBOX

小 計 ￥ 2,500-

ニコニコBOX

累 計 ￥ 47,920-

累 計 ￥125,564-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 大木啓嗣 副会長 飯田貴之 幹事 島田博之

クラブ広報・会報委員会 石井哲也・澤田武男・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。